

試聴会・訪問記掲載

河口無線アナログレコード試聴会報告(2016.7.2)

7月2日河口無線で開催されたヒノエンタープライズによる ZYX の MC カートリッジ他のアナログレコード試聴会に行ってきました。ZYX のステレオ MC カートリッジとモノラル MC カートリッジの試聴と、その他アナログアクセサリーのデモンストレーションを行うというものでした。

7月2日(土) PM1:15~PM3:00

3F ハイファイデリティ試聴室

<使用機材>



ZYX ステレオ MC カートリッジ R50Bloom II



ZYX モノラル MC カートリッジ R100-MONO



ZYX MC ヘッドアンプ CPP-1V2



iFi-Audio カーブ可変フォノイコライザー*iPhono2*
その他、PAD アナログシステムエンハンサーなど



ラックスマン ベルトドライブプレーヤー PD-171A ¥534,600



ラックスマン プリアンプ C-900U ¥1,188,000



ラックスマン パワーアンプ M-900U ¥1,188,000



B&W スピーカーシステム 802D3 ¥3,672,000 (ペア)



当日のセッティング

<試聴の経過>

まず、最初に R50Bloom II をセットした状態でジャズの盤がかかりましたが、ウォームトーンで聴きやすい音がしていました。次に [Analog System Enhancer \(型番 ASE-LE01\)](#) というバーニングの LP 盤の処理を 3 分ほど行ってから、再び同じ盤がかけられましたが、確かに音の生々しさや低域の曇りが取れた感じがしました。CD では同じようなものがありますが、44.1KHz16bit の限界があり、カートリッジやフォノイコのバーニングはできないので、こういったものが作られたということで、表裏で計 50 分のバーニングができるとのことでした。また、[アナログリラックスの除電ブラシ \(型番 AR-ASRB1\)](#) の紹介もありました。



次にチェンバロでハイドンの皇帝賛歌がかかりましたが、非常にクリアーで落ち着いた音が好ましく感じられました。

この後、マドンナ、幻想交響曲、ホテルカリフォルニア、ゲーリー・カーのコントラバスのスーパーアナログディスクが順次かけられましたが、幻想やゲーリー・カーの低音楽器の分離とクリアーさ、電子楽器の音の切れなど、どれを聴いても好ましい印象でした。恐らく、R50Bloom II、CPP-1V2、iPhono2 のマッチングが良かったものと思われる。

ここでカートリッジをモノラル用 MC カートリッジ R100-MONO に替え、サキソフオンコロツサスの後、シオルティのルスランとリュドミラおよびフランチェスカティ

のパガニーニについて iPhono2 のイコライザーカーブの切り替え実験が行われました。シヨルティは ffr 盤と書いてあるだけあって Dacca カーブが、フランチェスカティのコロンビア盤はコロンビアカーブがバランス良く聴けました。iPhono2 はすでに借用機により M 氏邸で評価していますので、その[報告](#)を参照していただければ分かりますが、iPhono から随分と改善されているようです。

ここで、大阪サウンドコレクションに向かうために中座し、カウンターに立ち寄りました。上述の Analog System Enhancer は人気商品で、次の入荷は 9 月とのことでしたので注文を入れておきました。アナログリラックスの除電ブラシも構造と材質が理にかなったものですので購入しました。帰宅後使用してみると確かにダストが綺麗にとれる感じでした。